


【刊夕】日十三月一



原五後郵錢十五月一 錢貳金部一 價定  
 錢十五行一語字三十號五 料告廣  
 治文崎川人刷印人聯編業行發  
 五三町橋長町平郡城石縣島福  
 番〇三六路電 社聞新日每警常 所行發  
 社會式株刷印日每警常 所刷印

新日本政治の主張

神木 鷗 津

(一) 今日世の多くの論客は我國家の問題を論ずるに當り、外來皮相の見に捉はれ過ぎて而かも自らは其捉はれてゐることに氣が著かないのである、彼等は皆根本義を忘れ、枝葉末節のみ走り、或は根本的の誤謬の上に自説を樹て、得々としてゐる、夫れ故當問題に入る前に茲に簡單に根本義に觸れておきたいと思ふ。

我が日本は世界無比に進歩し發展した家族主義立國である、家族主義尊重の國家なるが故に天皇中心、皇室尊重となる然るが故に忠孝道を無上の理想とし、道徳として奉ずるものである又忠孝道あるが故に國家は一家族なりと言つても差支ないのである、斯く既に一家族なれば此の大家庭の安定を圖り給ふのは家長の役目でなければならぬ、即ち家長でおはします天皇陛下が我國家を御統治遊ばされねばならぬのである、これ眞に我が國體そのものである、これが根本義である、此の觀念を根本に於て缺いてゐる様な立論や思想は之を排斥すべきである、實に此根本的思想は我日本國民の何人も異論の無いものと信する、否異論あることを許さないのである、若しも假に是れ有りとなせば殘念ながら左様な者はドシドシ國外に行つて貰はなければならぬ、いやや出て行か

を御覽遊ばされ、一人の不幸不平の無い様にと其の生活の安定を策り給ひ、國民は此甚深なる陛下の大御心に依つて昔から安定が得られて來たものである、今更の如くに自分等が臣子の分際で「國民生活安定の研究」などと題して、之を公然と考へ、之を言ひ合ふなどは實に不穩なる行爲と云ふべきである、然しこんな題

早春

渡邊 何 鳴

雜木山早春の雨かむりけり  
 春淺き萍生山房ともりけり  
 早春の潮ふくれよる巖根かな  
 枯芝に春淺き日のながれけり  
 早春の山紫に重なれり

目を眞面目に擔ぎ出して、世間に意見を求める様な不當を敢てして、然も少しも不思議がられない時勢に成り下つた今日を思へば何と情ない事ではないか、之れは何によつてあらうか、これ吾人が愚見を披瀝し諸君の甚深なる考慮を促した問題なのである。(續く)

暖かな冬物の御用意……

買よき店  
**モリタヤ洋品店**  
 平五 三五三

貸切は……

ランドーセダンで乗心地のよい  
**磐城タクシー**へ  
 親切丁寧で迅速な  
**磐城タクシー**  
 電話五六九番

**吉田眼科病院**  
 看護婦募集 (但有資格者)  
 平紺屋町、電話六八八番

難病ニ正シキ光線治療

**天佑堂**

平田町(末廣亭向ヒ)  
 治療時間 自午前八時 至午後九時

安全剃刀  
**モーニング**  
 おひげそりの快味

平町五丁目  
**釜屋商店**  
 電話九番 九九番

正確メガネ  
**根本時眼鏡**  
 無料検眼  
 各眼科院御用

千代田製靴福引大賣出し

五圓均一革靴 (修繕自由) 赤短靴、編上靴デモ  
 ちよだ耐久保證券付革靴 破損 三ヶ月 (新品交換) (修繕無料)  
 ちよだ小供靴一足毎二一枚進呈

一等	參拾圓	拾圓	拾圓
二等	拾圓	拾圓	拾圓
三等	五圓	拾圓	拾圓
四等	ちよだ特製エン	拾圓	拾圓
五等	ピツ一打ツ、	千貳百本	殘全部

平町四丁目 マルトモビル内 **菊地靴店**

### 鑛産税の委譲を

## 議會に膝詰談判

### 湯本町長一行上京

石城郡湯本町外十ヶ村の常磐炭坑地元町村では多年の懸案である鑛産税の地元町村移譲に付き今回議會に是が實現を圖る爲め小泉湯本町長外各村代表者村會議員が上京し全國の炭坑地、地元代表者と相呼應して農林省及び貴衆兩院議長政民兩派に陳情の爲め二十九日出發した

### 小名濱漁業 低資融通

立花氏等出縣

石城郡小名濱漁業組合では小名濱漁港修築に伴ふ陸上施設費として工費七萬九千九百圓の漁農村低資融通を受くべく二十六日立花組合長一行が出縣陳情した

### 縣の心盡しに

## 村當局の無關心

### 三坂の村民怒る

石城郡三坂村大字中三坂から下三坂を経越東線夏井驛に至る村道は五年度失業救済の土木工事として改修することになり縣も大體補助を與へることになり平土木監督所でも適當と認め準備中だが村當局では多數村民の要望を無視しこれを附議する村會を召集しないと部落民百五十餘名は連署の上二十九日小柳知事の陳情書を提出した

### 磐中寒稽古

明日納會

磐城中学校武道寒稽古納會は明三十一日午前九時より同校道場に於いて開催する

### 常磐線

## ガツカリ

一等車を奪はれて

鐵道省では目下常磐線に連結してゐる一等車を廢し東北線に連結する事になつたこれは常磐線廻りには主要驛が水戸、平ぐらゐのものだが東北線には浦和、大宮、宇都宮、小山、郡山、福島其の他の主要驛があるので利用者が多く殊に來る九月清水トンネルの開通と共に

### 青年講座

一般來聴歡迎

縣主催の青年講座は來る二月四日午前九時から石城郡内郷村高坂小學校に開講し一般からの聴講を歡迎す

上野、岩沼間は常磐線では三百四十キロであるのが三百三キロに短縮されるのを機として常磐線の一等車を廢し東北線急行一〇三列車と同一〇四列車とに増結する事になつた

### 専用線を開通

平郵 便局から石城郡草野村に通

### 色魔の師欺詐大

## 柳田を捕縛する迄

- ▼ 本名 青木由五郎 (前科三犯)
- ▼ 原籍 神奈川縣浦賀町
- ▼ 平地方にての偽名 柳田辰五郎
- ▼ 房總地方にての偽名 森本友三

(三)

根本 毅

だいがぶ永くなりました之れ迄で僕達三日間の行動をお知らせしたのです。

「あまりデラスな」とか「もう結論に入つては如何」などと催促を受けますが。

この原稿は十二月十九日遙々御出張の平警察署の警官瀨谷、半澤の兩君が北條署から柳田の身柄を引取つて僕達も同行して興津町の柳田の住宅搜索を済まし、夜七時五分發で一同勝浦町へ行き一泊、翌朝六時發で途中大網驛で僕と吉田君は所用で銚子町へ行くので一行に別れ銚子町の宿へ着いた

其の日の午後突然僕頗る激烈な胃痙攣に襲はれバントボンスコボラミンの御厄介になるあはれ病床に呻吟の身となつた。毎日の疲れやらが一時に出たのか三日間と云ふものは便所に立つすら吉田君や女中の手を借り

ずる村役場専用電話線は二月六日から開通する

### 町村長支會

石城郡町村長支會は來月六日平町郡農會樓上に開催舊年末始貧民救済失業對策納稅監勵方法等の協議題に加へて六年度豫算編成打合せの議案を上程する筈

々の轍を踏まないやう充分注意を拂つて頂ければ僕として此れ程の喜びはないのです。前車の覆るは後車の誠めだ。

さて柳田は此の日即ち四日目の十二月十八日午後房州館山町で捕縛したのです。が記事としては後半日所です。最早最後の五分間ドウゾもう少々の所御幸棒被下い。前にも言つた通り三日の話経記は旅館の病床中で書いたのだそれからの十八日の詳細は宅へ歸つてからと殘して置いたのだが。なししろ約二週間も年末留守をした爲め用事が山積して毎日東奔西走とて筆か

とれず閑があつたらウント脳味噌を絞つて名文でも書き「あの男中々や居るワ」とお褒めの言葉を頂き「たかつたが貧乏ひまなしでそれなら。今夕原稿が

た程に身動きもならず四日目にドウヤラ気分も快くなり幾分シツカリして來たので徒然のまゝに思ひ出の種にもと二日間病床の中で書きなぐつたのが十二月十五十六、十七、三日間の記事です。御覽の通り僕の場合無學不文とお目にか

けられるものではないがたゞ事實のまゝを書き並べたのです。幸ひにして皆さんが興味を以てお讀み下さる事を心から感謝致して居ります。僕としては世は益々不況彼奴柳田の如き輩猖獗して來ることです。

「美しい薔薇の花の蔭にはあの鋭い棘がある」甚だ耳タコの文句を持ち出して濟まない譯だが。僕の如き金のない人間はひつ掛りたくもひつ掛りやうもないが金のある方々は昨年彼奴の甘言に乗せられて失敗した人

### 文藝募集

昨日一日載せる分しかありません後のを……と云はれヨリ大變と急用で土浦へ行く途中汽車の内走り書きしたものを却つて御期待に反ひいて申譯ありませんお許し被下い。十八日の朝フト眼を醒ます枕元の時計を見ると六時に十分前を指してカチカチとやさしい氣持の快い音をたて、居る外はかすかな濤聲に和して眠たげな鶏の聲が聞える。まことにかな朝だ。

## 江戸前料理 倉岩

御婚禮・折詰料理 不祝儀・仕出し 天井・親子丼 三十錢 始めました

出前迅速 錦

水

田町末廣東隣り (電話四二二番)

# 詩南車

第六年第四輯出來

一九三一年生に伸びてる詩南車の雄々しき存在を見よ

平町各書 15 sen 發行所 平町五丁目廿八 詩南社

## 藤沼醫院

内科・小兒科・花柳病科 入院需應

平町紺屋町 電話五〇七番

# 炭山 父の死後九日目 大落盤に遭遇

孝子の名も今は空し  
残された母の悲しみ  
薄命児！昇君

本篇の主人公深谷昇(三)君は既に一片の煙烟と化して幽冥境を異にする時同君の家庭が一つの悲劇となつて世人の耳朶を打つてゐる、四面山にかこまれて早春の雪がうらさむく吹いてゐる東日川郡征原村に呱呱の聲を上げた昇君は漸やく尋常小學を終へたばかりのいたいけなない姿で病弱な両親を

## 落盤の目方

十二貫四千二百貫  
磐城炭礦高坂坑の珍らしい大落盤は五千坪でその筋で調査したところによると驚くなけれ十二萬四千二百貫といふ目方これではどんなものでも人間などは問題にならないそれに三人までが僅の傷で助かつたとは全く奇蹟であると同社では非常に喜んでゐるが家族の嬉しさは又格別である

援け一家の糊口をのりするために雄々しくも生活戦線の可憐な闘士となつて炭山稼ぎの荒波に押されて来たのであつた  
丁度その頃本郡赤井村に好況をつづけてゐた川瀬炭礦へ昇君一家は轉々として流

月十九日遂に黄泉の旅へ立つてしまつたその涙もまたかはかぬ九日目、いつになく母と共に食事してしんみりと死んだ父のことなどこの後のことなど語り合へ乍ら長屋を出たのであつた、これが今生の別れとなるのは母も兒もどうして知り得たであらうか

廿七日午後二時半一大音響と共に起つた坑内の惨事大落盤——八名生埋めのその中にたつた一人のわが兒の死骸を見出した老母の嘆きに沈む姿を眠のあたりにみた人々は誰一人嗚咽の聲をしゃくり上げぬ者はなかつたあとに残された母——六十の坂を越えて今後頼る處なき憐れな一人の女を前にして私たちは深く考へさせられるものがあるではなからうか

## 今時珍らしい話

五圓多かつたと  
わざと平驛へ

人情紙よりも薄い昨今の世相に話しを聞いたげでも胸のすくやうな時節柄うるはしい話し、茨城縣眞壁郡大寶村箱守徳次氏は去る十七日平町から所用の歸途平驛で大寶驛までの三等切符を買つた所が出札員は二圓四十七銭の貨金十圓への釣り銭に間違つて五圓多く支拂つた、出札員はこの間違ひのため責任上自腹を切つて辨済しあきらめてゐたと

## 重傷を負ふ

自動車検査で  
出福の途中に  
石城郡川前村根本保方貨物自動車運轉手永山幸一(三)は去る二十五日午後二時三十分頃自動車検査のため出

福の途中同郡川前村大字山下谷農山田平松(三)を乗せて同村大字下桶賣地内縣道で平松が停車前に下車した爲め左足を車輪に轢き倒され全治二ヶ月間の重傷を負つた

## ハシカ流行

内郷村に  
石城郡内郷村字御座部落に麻疹流行目下猖獗を極めて居り御座小學校生徒過半數は欠席の状態にあるので村當局では豫防その他の対策

## チフテリヤ御用心

患者への出入は危険  
下搜索中  
平町では最近引續きチフテリヤ患者五名を出し益々蔓延するの模様であるが同病は概ね自宅治療の關係上その消毒等も發生時には適切であるも轉氣時に引續もすれば閉却しがちであるために患者出入等によつて近隣に感染した實例が尠くないのでこの點もあはせて注意してゐる

## 預金者大會

方針を協議  
來月四日湯本町で  
平町磐越銀行の破産について湯本町字湯本區の公金預金者外五十名は來月四日午前十時から湯本町に預金者大會を開き今後の方針について協議する由

## 海中に墜落

行方不明に  
石城郡小名濱町古港龜田屋水野順弘所有き船四十八社丸に漁夫吉田鶴治外四名乗船し去る二十六日富岡町沖合に出漁中二十八日小名濱町に歸港中乗組員の一人双葉郡北町柳爲義(三)が過つて墜落行方不明となり目



明日のラジオ  
卅一日  
報豫氣天  
今夜は南東の風  
薄曇りて明日は  
悪くなります

「コードモの研究したお話  
三つ」仙臺市木町通小學  
校兒童  
後六、三〇 英語講座「中  
等科第一講の三」ノーマ  
ン・ブラン  
後七、〇〇 全國ニュース  
(官廳ニュースを含む)  
ニュース氣象通報組豫  
告知事項  
後七、二五「浪花節の夕  
一、慶安太平記木村重松  
二、杉山檢校浪花亭綾太  
郎三、尾張大八廣澤駒藏  
四、勸進帳宮川松安  
後九、四〇 時報全國ニ  
ニュース氣象通報組豫告知  
事項  
× × ×  
十七日夜怪賊忍び入り現金  
二百二十圓餘を強奪逃走し  
たが前夜附近の隣家を襲つ  
た犯人と同一犯人と睨み平  
署で犯人殿探中

鳥料理  
かば焼は  
寄なべ  
魚榮の一番美味しい……とは  
お客様の話し！  
……ぜひ一度御試食下さい  
平館隣り  
出前迅速 魚 榮  
電話四二四番

外科 内臓外科 醫學士  
整形外科 松永憲一  
外科一般  
平新川町十九  
木村病院  
産婦人科院長從前通り診療



東京橋場射刺

女文字  
捕物おぼえ  
お作の幽霊 (其三)  
米田安蔵  
幽霊の客は其後除り幽霊の話しをせず、急いで飯を掻ッ込み、漱ぎを拂つて立つた。  
お千代も同じく海老屋を立ち出た。  
降り瀟々も妙にお作の幽霊と云ふ事が氣に成つてならない。  
「徳松、お前幽霊の話しを聞いてたらう」  
「へ、暗らぬ事をいでもものですなア」  
「彼の連中は何處のものだか、お前知らないか」  
「え、見た事のある奴は一人も居りません」  
「然うかへ」

徳松の言ふ通り暗らぬ話しで、考へるのも馬鹿くしい氣はするが、彼等五人連の容は座敷ではない、夜も暗々暗々れぬと云ふ幽霊な話しだったので、其幽霊に釣込まれたのか……お作の幽霊……ト云ふ事が、頭に打込まれたやうに染込んで、三十間堀へ降り着く送、おどろに振盪した髪、血がドロクと流れる口、青ざめた若い娘の顔のなさを、思ひ返しくしたりした。  
町の兩側の家々は燈の夜の火の光りに、店々を色取つて居る。  
家へ歸つたのは彼れ五ツ時だつたらう、安蔵は例の長火鉢の前にてを引掛け、大あぐらで靴襪を相手に、お千代の入寸の膝でピリチピリ酒を飲んで居た。  
「只今戻りました」  
「オ、お千代、思ひの外早かつたなア、何うだった、王子は」  
「今更らしくお千代の膝を上げ、支度しりやア、女房様々好い女……の處でもあつたか、身が……」



「フレ、おもお合をしませうよ、徳松お前おながすいたらう御守だつた一ツ道るかね」  
「私はお酒より飯の方でけす、お前北山に、ぐれと来やしたから……」  
「オホ、夫れでは御飯におしよ、お前さん……と安蔵の前へ入つて漸く其幽霊のことを忘れたいと思ふと、又夫れを思ひ出させるやうな事を言ふ。  
「下手人の詮なら縁起だが幽霊の種あかしは番屋が違ふからナ、此奴ア十手の威光でも何うもなるめへ」  
「夫れでお前さん引受けて来たつたのかね」  
「近所のものが置いて居て、夜になるとバツタリ火の消えたやうに入通りが無くなる、別に夫れが何う云ふ事になるからと云ふでも無いが、町人達が安心の爲めだ何とか工夫して居たかといふ事から、私も後も一骨折つて見やうと云つて来たのさ」  
徳松がお千代の胸へ乗る。

「何んだねへ、シロく見たり何ぞして、お前さん今日は何様をしたらよ、たまには外へ出ることだね、御免なさい」  
「オホ、夫れでは御飯におしよ、お前さん……と安蔵の前へ入つて漸く其幽霊のことを忘れたいと思ふと、又夫れを思ひ出させるやうな事を言ふ。  
「下手人の詮なら縁起だが幽霊の種あかしは番屋が違ふからナ、此奴ア十手の威光でも何うもなるめへ」  
「夫れでお前さん引受けて来たつたのかね」  
「近所のものが置いて居て、夜になるとバツタリ火の消えたやうに入通りが無くなる、別に夫れが何う云ふ事になるからと云ふでも無いが、町人達が安心の爲めだ何とか工夫して居たかといふ事から、私も後も一骨折つて見やうと云つて来たのさ」  
徳松がお千代の胸へ乗る。

吉例の節分會

會費 金二十錢  
御加入の方ニハ家内安全祈禱ノ御札及福豆神酒ヲ差儀米ナレバ一升  
但シ十人一組ノ割合ニテ一二人合入レノコト  
授ク  
◎年男御希望ノ方ハ金五圓納付ノコト  
羊歳ニ當ル方及ビ厄歳ノ方ニ奮ツテ年男ニ參加願上マス  
式 順 序  
二月四日(舊十二月十七日)午後一時修祓 一時半  
家内安全祈禱 二時豆蒔執行 二時半世話人ノ祈禱  
禮並ニ福豆ヲ分配ス  
附  
一、世話人ノ御方ニシテ三十人以上御勸誘ノ際ハ福餅一個ヲ贈呈ス但シ世話人ノ方モ會費ハ申受ケマス  
二、締切ハ昭和六年一月三十日(舊十二月十二日)トス  
石城福わ内會

ヨウモードン!  
いゝ服を求めたね  
断然三一年型だよ  
イヤコレカネ  
例の……ソレ!  
正札堂



平町四丁目停車場通電三四六

寒さに鳥肉  
鳥肉の絶好シースン  
むき小鳥と  
肉鳥を安く  
賣る店!  
平南町「鳥菊」へ  
電話二八六番

看護婦急派  
の求めに應  
じます  
平町南町  
平看護婦會  
電話三〇七番

ゲーム取募集  
詳細御來談下さい  
ビリヤード一の井  
平町字田町

て總は命用御の物刷印  
番〇三六話電 刷印日每警常

耳鼻咽喉科専門  
場所 舊診療所裏通り  
合津醫院  
平町仲田町 電話五五九

神戸牛そのこのけの  
優秀清新の……  
牛肉大値下  
ヒレ 百匁 九〇〇  
ロース 同 七〇〇  
上肉 同 四〇〇  
並肉 同 二五〇  
お用命次第いか程にても早速お届け致します  
電気すゝま焼器を取付けました  
スキッチピとねじりで直ぐグツグツと  
煮上ります、正に超スピードです……  
味は?これ自慢ながら  
百パーセントです  
お家族様御同伴を歓迎いたします  
平町田町  
牛豚鳥料理 石川亭  
電話四三

祝賀……ニ  
勝利……ニ  
歓迎……ニ  
送別……ニ  
葬儀……ニ  
生きくした  
造花  
町川新平  
屋本橋  
番三六一話電